



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2018～2019年度 RI会長 バリー・ランシ
RIテーマ インスピレーションになろう

クラブテーマ「あるがままの30周年〈Let it Be 30year〉
思いを込めて！」

副会長 山田定男 幹事 岡 良森

第1386回 例会
2018.10.21(日)晴

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 石井司人君

秋の風が吹いて、最高の状態で稲刈りが出来ました、メンバーや家族の方々には、大変な仕事をさせていただきました。おかげさまで無事終了することができました、ご苦労様でした、田んぼアートは、今年度の事業の一環として取り組んでいましたので、まずはホッとしました。さて事業はこれからですから、皆さんのお力添えをお願いします。



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	27/33	81.82%	30/33	90.91%
今回	15/30	50.00%	会員総数	35名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、石井(邦)君、大庭君、小島君、小林君、田中君、土屋君、中本君、服部君、原君、藤川君、宮澤君、矢岸君、山本君、渡邊君

(*出席免除会員の欠席者 大房君、片野君、兼子君、澤田君、鈴木(政)君)

ポリオデイ活動報告

10月13日(土)、三島RC・三島西RC・せせらぎ三島RCの三クラブは合同で、ポリオに関する啓蒙活動及び募金活動を三島市内ショッピングセンターにて行いました。合同での実施は昨年に続き2回目であり、この活動には近隣高校の日大三島高校及び知徳高校の学生10名(インターアクト)も一緒に行い、参加者は総勢30名ほどで行いました。

当日は、参集した会員及び学生に対し、三クラブを代表して、三島ロータリークラブの堀内会長より本活動の趣旨及びスケジュール等の説明があり、ショッピングセンターの2か所の出入りに分かれ、のぼり旗を設置した上で、ポリオに関するパンフレットの配布と募金活動を行いました。募金について、呼び掛け時点では、関心を示さなかった買物客が、同時に手渡したパンフレットを見て後から募金していただいたり、関心を示してくれた小学生が呼び掛けを手伝ってくれたり、手作り感満載の活動ができました。当日の募金金額は、43,160円でした。



田んぼアート活動報告



せせらぎ三島ロータリークラブ社会奉仕委員会
30周年記念事業実行委員会記念事業部

10月21日(日)、久しぶりの好天の中、函南町大土肥南、石井会長所有田圃にて行いました。

6月17日に若松町の子供たちやお玉ちゃん食堂のゲストの子供たちが当クラブ会員とともに田植え体験をしてから4か月、7月の台風、8月の猛暑などがありました。南隣の田圃は、稲が強風で倒れるなど大変心配されました。うるち米と古代米の稲の色の違いを利用した田圃アート、古代米の育ちが早く、当初想定していたほどの色のコントラストは、若干残念な部分もありました。また、せせらぎの文字など、細かい箇所は、微妙な感じになってしまった箇所も出てしまいました。

しかしながら、何といても初めての体験、皆で協力して行うことができました。みしまる君も何となくわかります。田植え体験の時の子供たちの笑顔は素敵でした。収穫の時の心地良い腰の痛みが充実感に繋がりました。一連の活動は、来年の式典での発表につなげていきたいと思います。

皆様ご協力ありがとうございました。

ROTARY NEWS

ロータリーとGPEIによりポリオの根絶が間近に

ポリオ撲滅活動の開始から30年。ロータリーと世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)のパートナー団体は、各地域での進展や数々の課題を経ながら、「ポリオのない世界」の実現に限りなく近づいています。

米国フィラデルフィアのCollege of Physicians of Philadelphiaで水曜日に開かれたロータリーの第6回世界ポリオデーイベントでは、歴史上前例のない官民共同パートナーシップとポリオ撲滅への革新的戦略にスポットライトが当てられました。ロータリー財団管理委員会のロン・バートン委員長は、次のように述べます。「ここフィラデルフィアでロータリーはポリオ撲滅への募金目標を2倍にすると発表。結果的に2億4,700万ドルを集めるに至りました」これこそ、全世界でこの病を撲滅するという大きな課題に挑み、そして人類史上最も野心

的な公共保健の課題に取り組むGPEIを率いるロータリーの力を実によく表しています。GPEIでは、ロータリーのほかに世界保健機関(WHO)、UNICEF(国連児童基金)、米国疾病対策センター(CDC)、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が主要パートナーとなっています。イベントでは、ゲイツ財団のリー・ヘッグさん(ワクチン配給チームのシニアオフィサー)が、NBCシアトル支局のニュースキャスター、マーク・ライトさんとのビデオインタビューで、ポリオ撲滅のこれまでの進展と今後の課題について語りました。

「現在もポリオ症例が報告されているパキスタンとアフガニスタンでは、紛争や治安の不安定という大きな課題に直面しています。これが事実です」とヘッグさん。「こうした問題を解決する新しい方法を見つけなければなりません」